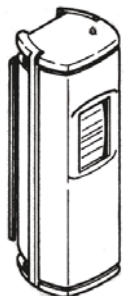
OPTEX

5917121 2010. 06

取扱説明書

LED照明制御システム
ワイヤレスPIR送信器 LC－3T

ご使用になる前に必ずお読みください。
（取り付け方法、各スイッチの設定については裏面の施工説明書をお読みください）



はじめに

ワイヤレスPIR送信器LC－3TはLED照明制御システム LC－2MC、LC－2SCと組み合わせ使用し、人体検知時に検知信号を無線通信によりLC－2MC、LC－2SCに送信します。
本商品は、無線通信および乾電池による電源供給により、システムの設置・増設・移設が容易であり、かつ配線が不要な為に設置環境の美観を損なわない特徴を有しています。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害電波干渉が発生した場合などお困りことがある場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：オプテックス株式会社 事業企画本部
TEL：077-579-8040 URL：http://www.optex.co.jp/

2.4DS1

1. 安全にご使用いただくために

絵表示について　この説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容を表示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容を表示しています。

絵表示の例
⃠記号は禁止を表します。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左の図は分解禁止）が描かれています。
❗記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告		⚠ 注意	
異常なときは電池を取り出す	万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災感電の原因となります。すぐに乾電池を取り出して異常状態がおさまった事を確認してから販売店、工事店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。	消耗した乾電池は取り出す	消耗した乾電池を長時間いれたままにしておくと、液もれが起こり、故障につながるだけでなく液に触れるとやけどの原因となります。
分解・改造しない	分解・改造は絶対におやめください。火災感電の原因となります。	乾電池は指定以外のものを使わない	充電式（Ni-Cd）電池等は使用しないでください。破裂、液もれなどを起こし、やけどの原因となります。必ずアルカリ乾電池をご使用ください。
乾電池を分解・加熱火の中に投入しないでください	乾電池を分解・加熱、火の中に投入しないでください。ショートや破裂、液もれなどを起こし、怪我の原因となります。	種類の違う乾電池を混ぜて使用しない	種類の違う乾電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。液もれを起こし、やけどの原因となります。

お断り	本商品は盗難・事故などの防止器ではありません。 万一発生した盗難・事故などによる損害については責任は負いかねます。

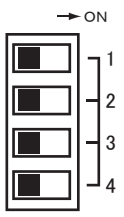
2. 各部の名称と働き

①センサ
直接手で触れないでください。

②動作表示灯/照度検知窓
動作表示ON／OFFスイッチをONにしますと検知時点灯します。なお電池が残り少なくなりますと点灯が点滅に変わります。また、周囲照度を検知し、昼間は検知信号を送信しません。

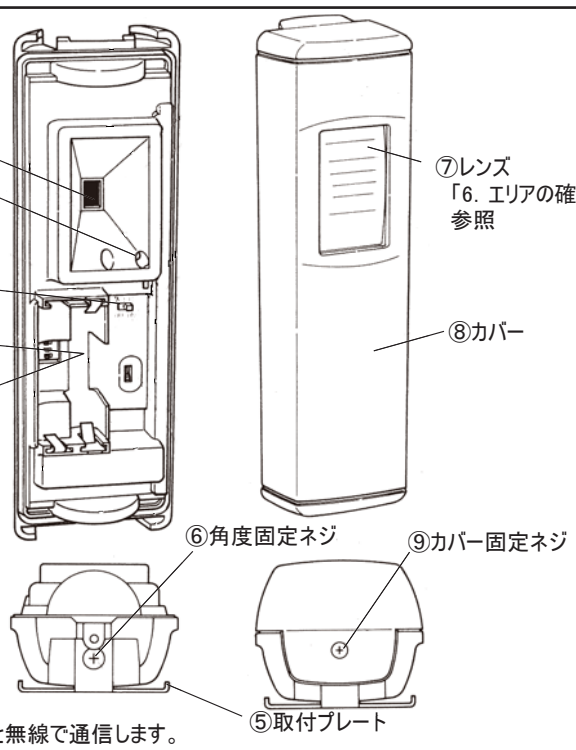
③動作表示灯ON／OFFスイッチ
電池寿命をのばすため、取付が完了しましたらOFFにしてください。

④グループ設定スイッチ
ワイヤレス通信のグループ設定を行います。
ピンセット等、先端が細いモノで操作してください。

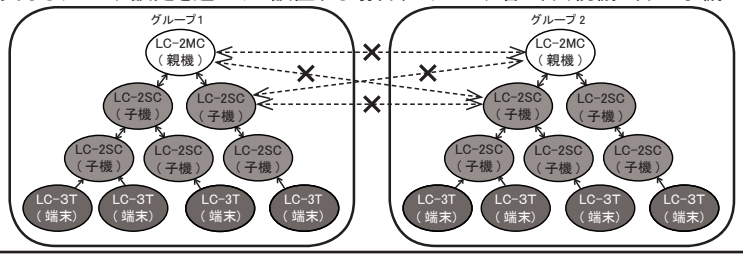


グループ設定

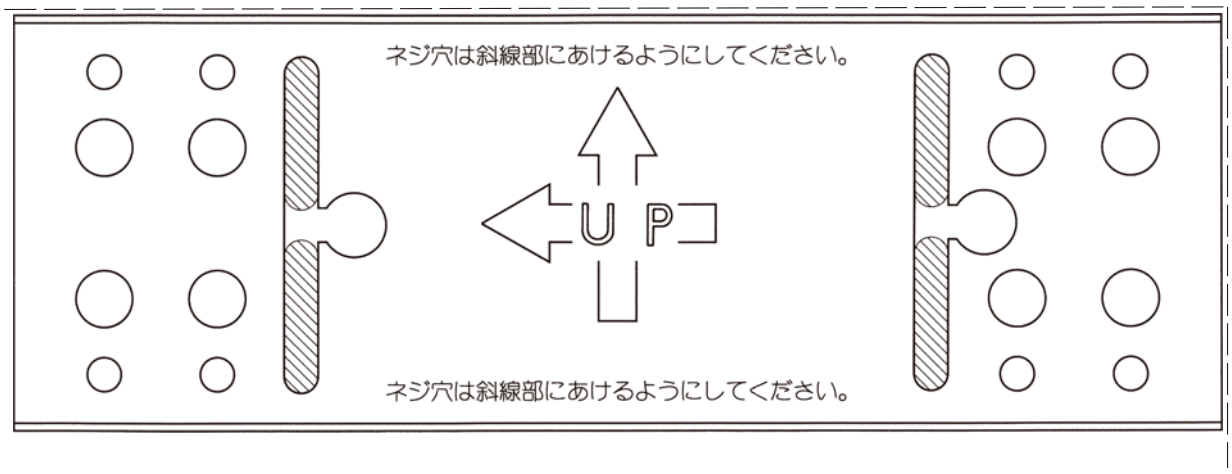
・同じグループに設定したい場合は同じグループにしたい各商品のグループ設定スイッチと同じになるように1～4を左右に動かして設定してください。
・異なるグループ設定にしたい場合は任意のグループ同士、同じスイッチ設定にします。



＝グループとは？＝
グループ設定により同一グループのLC-2MCやLC-2SCと無線で通信します。
LC－2MC1台に対して、LC－2SCを7台まで接続できます。
異なるグループ設定を近づけて設置する場合、4グループ各8台（親機1台＋子機7台）最大32台まで設置できます。



《取付型紙》
本機種は、取付用のネジ穴をセンターに設けることができません。従って下図の（取付型紙）にてネジ穴を決定してください。



3. 異状時の点検について

まったく動作しない。	電池の向きは正しいですか。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗していませんか（動作表示灯が点灯ではなく点滅していませんか。）	電池を交換してください。（単3形：LR6×3本）
	電池を入れてから約1分たちましたか。	約1分間お待ちください。
	検知エリアを遮るものがありませんか。	遮る物を取り除くか、遮られない所に取り付けるようにしてください。
	表示灯ON／OFFスイッチがOFFになっていませんか。	OFFになっていた場合、動作はしていてもLC－3Tのみ、LC-3TとLC-2SCとの組み合わせでは動作の確認はできません。
	グループ設定は同一グループと同じ設定になっていますか。	「2. 各部の名称と働き」の④グループ設定を参照してください。
	検知エリアの向き、設定距離は適切ですか。	エリア図をご確認の上、再調整してください。「6. エリアの確認」参照
	本体が昼間のように明るい場所に取り付けられていませんか。	取付場所が明るいと照度センサが働いて検知信号を送りません。周囲が暗くなってから動作させてください。
ときどき動作しない。	検知エリアの向き、設定距離は適切ですか。	エリア図をご確認の上、再調整してください。「6. エリアの確認」参照
	レンズ表面に汚れ等はありませんか。	柔らかい布でふき取ってください。
	LC-2MC、LC-2SCが20m以上離れていませんか。	直線で見通し20m以内に取り付場所を変えてください。
誤動作する。	検知エリア内に犬や猫等の小動物が出入りしていませんか。	壁取付にする等小動物を検知することのないようにしてください。
	検知エリア内に洗濯物、樹木の枝、カーテン等動く物がありませんか。	検知エリア内から動く物を移動させるか、検知エリアの調整を行ってください。
	検知エリア正面から太陽光、車のヘッドライト等の直射はありませんか。	検知エリア正面から、直射しないように取り付けなおしてください。
	取付場所が急激な温度変化を起こしていませんか。（例えばエアコンの屋外機の近く）	急激な温度変化の起こらない場所に取り付けなおしてください。
	取付部が動いていませんか。	しっかり固定できる場所に取り付けなおしてください。
	検知エリア内に急激な温度変化を起こす物（ストーブ・ファックス等）はありませんか。	検知エリアから外れるように温度変化を起こす物を移動するか、検知エリアの調整を行ってください。
	電池が消耗していませんか。	電池を交換してください。（単3形：LR6×3本）
	同じシステムで同じグループ設定のものが近くに設定されていませんか。	「2.各部の名称と働き④グループ設定」を参照のうえ、異なるグループ設定にしてください。

以上の点検を行っても原因がわからないときは、お買い上げ店または弊社営業へご相談ください。

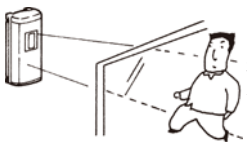
施工説明書

送信器の取り付けや初期設定については下記の項目をお読みのうえ行ってください。

4. ご注意ください

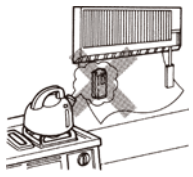
ワイヤレス送信器LC-3Tをご使用の際には、下記の項目にご注意ください。

1. 遮光物体



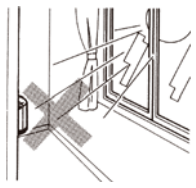
検知エリアが遮られるような場所には取り付けないでください。（透明ガラスなども遮光物体となります。）

2. 温度変化・汚れ



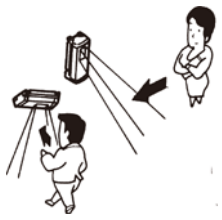
蒸気、油煙、エアコンからの温・冷風の直接あたる場所へは送信器を取り付けないでください。（急激な温度変化は誤動作の原因に、汚れは検知しにくくなります。）

3. 光



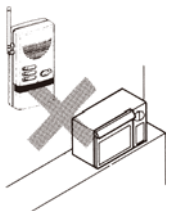
送信器の検知エリア正面からの太陽光、車のヘッドライトの直射は避けてください。（誤動作の原因になります。）

4. 通過方向



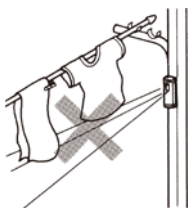
必ず絵の様に、検知エリアを横切る（くぐる）様に送信器を取り付けてください。センサに向かって歩くように設置した場合検知しにくくなったり、検知距離が短くなることがあります。

5. 他の電気製品



次のような機器からの影響で受信しにくくなる可能性があります。パソコン・電子レンジ・冷蔵庫・モータを使用した機器。（送信器の誤動作の動作不良の原因になります）

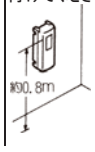
6. 障害物



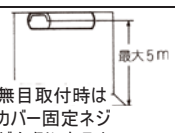
検知エリア内に洗濯物樹木の枝、カーテンなど（風などで）動く物がないこと。（動く物は誤動作の原因になります。）又、物（ガラスを含む）でかくされた後は検知しません。

7. 壁取付と天井取付

壁取付は、床から約0.8m無目・天井取付時は床から5m以内に取り付けてください。

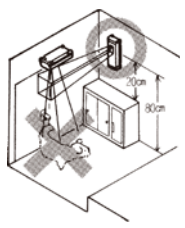


壁取付時はカバー固定ネジが下になるように取り付けてください。



無目取付時はカバー固定ネジが右側になるように取り付けてください。取付プレートに書かれた矢印が上に向くように取り付けてください。

8. ペット・小動物

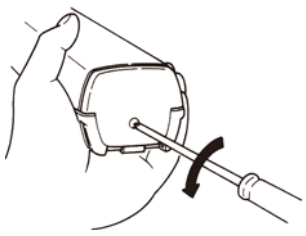


送信器の人体検知センサは犬・猫・ねずみ・小鳥等も検知する場合があります。ペットのいる場所では壁取り付けをお勧めします。（床から80cm、棚から20cm以上に取付け.）

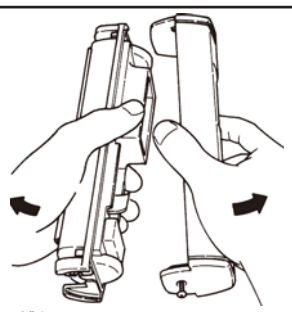
9. 夏場など体温と周囲環境の温度差が少ない場合検知しにくくなったり、検知距離が短くなることがあります。
10. 次のような条件で使用しますと、電波到達距離が20mより短くなることがあります。
    - ○送信器の取り付け面が金属製の場合（取付け面の裏に金属製の物、フィルム等がある場合）
    - ○放送局などの強い電波を出している所の近く。
    - ○高圧線などの電気的ノイズを多く出している所の近く。
    - ○近くに2．4GHz帯のワイヤレス機器が設置してある場合
11. 機器本体を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
12. 機器本体が汚れた場合は中性洗剤の含んだ柔らかい布でふいてください。（シンナー、ベンジンなどの化学薬品は表面を痛めることがあります。）
13. 送信器の電池交換は1年を目安に早めに行ってください（使用状況に応じて電池の交換時期が変わることがあります。）

5. お取り付けの方法

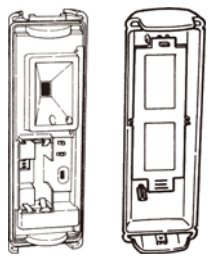
①カバー固定ネジを緩めます。（ネジはカバーから抜いてしまわないでください）



②カバーをはずします。

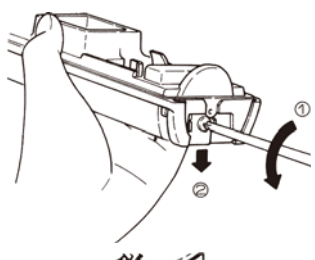


③検知エリアの設定、及びスイッチ類の設定を行ってください。（「2. 各部の名称と働き」及び「6. エリアの確認」参照）



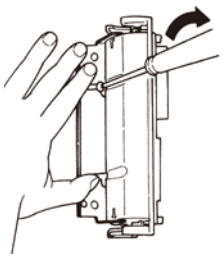
④角度固定ネジをゆるめます。（両端とも）

取付プレートを引き出します。



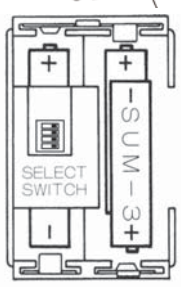
⑤取付プレートを付属のビスで固定してください。

本紙下にある取付型紙をご使用ください。

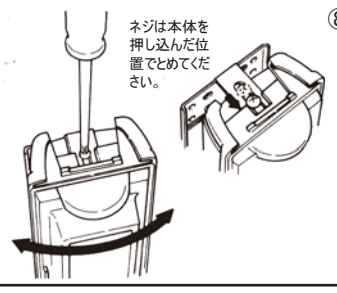


⑥電池を入れてください。

電池の方向をまちがわないよう本体に表示された方向にアルカリ乾電池を入れてください。



⑦検知エリア方向の調整を行い、角度固定ネジで固定してください。

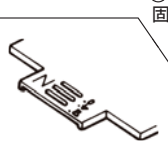


⑧センサ窓側の嵌合に注意してカバーをしめてください。その後、カバー固定ネジで固定してください。

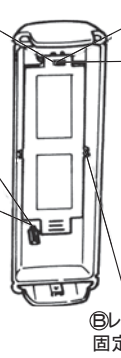
6. エリアの確認

本機種は、スポットタイプ・ナロータイプ共用であり、レンズをはめ換えることにより、各々の検知エリアの切り換えが行なえます。

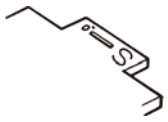
①



壁に取り付け、ナロータイプでご使用の場合は「N」と書いてある方の穴へⒶレンズ固定リブを通してください。検知エリアを水平にしたい場合は「0」の穴へ。下へ向けたい場合は「4°」「8°」の穴へ通してください。



天井・無目に取り付けスポットタイプとしてご使用の場合は「S」と書いてある方の穴へⒶレンズ固定リブを通して固定してください。

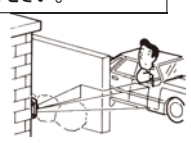


②

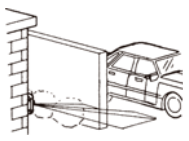
Ⓑレンズ固定爪にパチンとはめて固定してください。

ご注意

この製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が短くなったり長くすることがあります。温度の変化を検知しているため静止している人などは検知しません。又、方向性があるためセンサに近づいてくる人「4．ご注意ください（4．通過方向）」に示す以外の方向に動く人などは検知しにくくなります。



検知エリアの先は必ず壁、ブロックなどで遮るようにしてください。検知エリアがもれていると思わぬ遠くのものでも検知する恐れがあります。



どうしても検知エリアが外へもれる場合レンズの取付位置を「4°」又は「8°」とし、検知エリアを下へ向けてください。

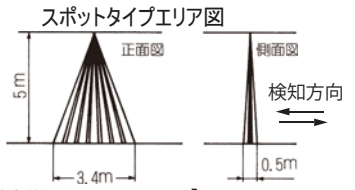
検知エリアは出入り口は出入口の近くになるようにしてください。検知エリアが出入口からはなれると、人が検知エリアと出入り口の間を通り抜けて検知しないことがあります。

○エリア確認は周囲が暗くなってから（日没後）行ってください。
エリア確認の前には動作表示灯ON/OFFスイッチで表示灯をONにし確認後は必ず、LEDをOFFにしてください。

天井取付

床面近くで手を水平にゆっくり動かせてください。動作表示灯が点灯する所に検知エリアがあります。

スポットタイプエリア図

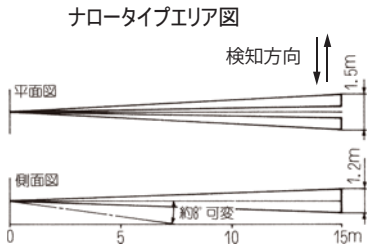


有効検知エリア：3m
有効検知エリアとは、人体のひざよりも上の部分で確実に人体を検知する範囲を示しています。

壁 取 付

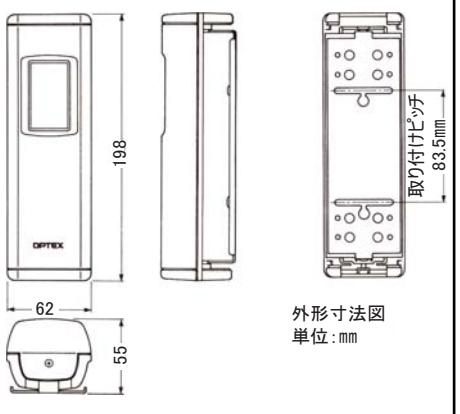
ゆっくり歩いて、どの位置で動作するか確認ください。動作表示灯が点灯する所に検知エリアがあります。

ナロータイプエリア図



7. 仕様

ワイヤレスPIR送信器 LC－3T	
検知方式	パッシブインフラレッド方式
最大検知距離	5m（スポット）・15m（ナロー）
動作表示灯	検知時点灯（スイッチにより消灯可能）
昼夜判別用センサ	昼夜判別照度センサ内臓（調整不可）
ウォームアップ時間	約60秒
送信出力	1mW
通信周波数 標準通信距離	2．4GHz 20m
	（但し周囲環境により距離が短くなることがあります）
グループ設定 電　　源	16通り DC4．5V
	（アルカリ乾電池単3形（別売）×3本）
電 池 寿 命	約1年（1日500回送信、アルカリ電池使用）
使用温度範囲	－10～50℃
設 置 場 所	屋内・屋外
質　　量	300g
付 属 品	取付ネジ4×20　2本



外形寸法図
単位：mm

※仕様改良のため、予告なく変更することがあります。
【お断り】この商品は盗難防止ではありません。万一発生した盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書

※印内はお買い上げ字に必ず記入を受けてください。記入なき場合は、本書は無効となります。再発行は致しませんので、大切に保管してください。

製品名	
保証期間	お買い上げ日より1年間
お客様　ご住所（〒　－　）TEL	
お名前	
※お買い上げ日　年　月　日	
※販売店名	

《保証規定》

Ⅰ．保証規定
1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保障期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2. この保証は本書に記載された製品について、日本国内に限り適応いたします。

Ⅱ．保証の条件
次に該当する故障は、保証期間（お買い上げ日より1年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
1. 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障、また故意・不注意による損傷に起因する故障
2. 災害など不可抗力による損傷
3. 本書に必要事項の記入がない場合。また、本書の提示がない場合。

オプテックス株式会社

事業企画本部
〒520－0101　滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL：(077)-579-8040　FAX:(077)-579-7190　http://www.optex.co.jp